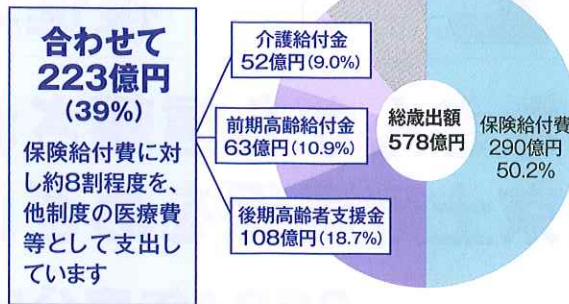


国は責任を持って社会保障を拡充するべき! 国民への負担押し付けSTOPを!

後期高齢者支援金や前期高齢者納付金、介護納付金のような他制度に対する支出金が年々増えており、2024年度予算では歳出額の39%にも上ります(右図)。

本来、こうした国全体の高齢化等に伴う社会保障の負担増は、公費でまかなうべきです。しかし政府は、社会保障費を削減し、窓口負担や保険料などの負担増を国民に押し付けています。

2024年度 歳出予算



これ以上、医療や介護の負担が増していけば、私たちは健康で安心な生活ができなくなってしまいます。社会保障の充実、国民が憲法で政府に課した義務です。東京土建は、国が責任を持って医療・介護・年金などの制度をよくしていくことを求める運動を進めています。署名や集会への参加にご協力をお願いします。

特定健診・特定保健指導で病気の 早期発見・早期治療と生活習慣病の予防を!

「糖尿病」、「脳血管疾患」、「心疾患」などの「生活習慣病」は、重症化するまで自覚症状がほとんどないことがあります。年一回の健診で身体の変化に気づき、異常があった場合には早期に治療を始めて大切な健康といのちを守りましょう。

健診の結果、生活習慣病になる可能性の高い方には、「特定保健指導」のご案内が国保組合から届きます。専門家と相談して生活習慣を改善し、病気を予防しましょう。すべての仲間が健診・特定保健指導を受けることは、東京土建国保組合全体の医療費を減らし、保険料の引き上げをおさえることにもつながります。

土建国保の事業を一部ご紹介

- 無料健康診断・人間ドック補助
※現場で使える安衛法対応の健診です。
- インフルエンザ補助金
- 宿泊旅行補助金
- 入院給付金
- 無料歯科健診



制度の詳細は、東京土建国保のHPを

2024年度東京土建国保組合保険料

国保種類	組 合 員		国保種類	家 族	
	都 内	都 外		都内・都外	
法人A種	36,050円(現行34,450円)	38,350円(現行36,950円)	成人男性	11,700円(現行11,700円)	
法人B種	33,450円(現行32,350円)	35,750円(現行34,850円)	一 般	4,200円(現行4,200円)	
法人C種	29,250円(現行28,150円)	31,550円(現行30,650円)	高校生相当	3,800円(現行3,800円)	
第1種	30,550円(現行29,250円)	32,850円(現行31,750円)	中学生相当	3,800円(現行3,800円)	
第2種	24,850円(現行23,750円)	27,150円(現行26,250円)	小学生相当	3,000円(現行3,000円)	
第3種	20,250円(現行19,350円)	22,550円(現行21,850円)	幼 児	1,800円(現行1,800円)	
第4種	20,250円(現行19,350円)	22,550円(現行21,850円)	乳 児	1,800円(現行1,800円)	
第5種	14,850円(現行14,250円)	17,150円(現行16,750円)	※5人目以降の家族保険料は徴収しません(賦課対象外)。		
第6種	11,150円(現行11,150円)	12,350円(現行12,350円)	※40歳から64歳の介護保険第2号被保険者は、組合員、家族とも1人4200円(現行3700円)が介護保険料として上乗せされます。		
第7種	8,650円(現行8,650円)	9,850円(現行9,850円)	※国保組合員に対しては、月額150円の国保入院共済掛金が必要です		

土建国保を守る運動へのご協力をお願いします

2024年2月
東京土建一般労働組合
社会保障対策部
部内資料